

シルガード 9(HPV 9 価ワクチン)について

2021年2月24日より、HPV9 価ワクチンであるシルガード 9 の取り扱いが始まり、当院で接種いただけます。

Q&A

1. 9 価ワクチンとは、どのようなワクチンですか？

HPV(ヒト・パピローマウイルス)の中で、6/11/16/18/31/33/45/52/58 型をカバーし、子宮頸がんの原因となる HPV 型の約 90%をカバーするワクチンです。なお、子宮頸がんだけでなく、外陰がん、膣がんの予防効果も期待できます。

(厚労省の指示により、全例登録を行うワクチンです。接種前に「ワクチン Q ダイアリー」への登録が必要となります。)

2. 9 価ワクチンは、今までのワクチンとの違いは何ですか？

4 価ワクチンは HPV 6/11/16/18 をカバーしていて、子宮頸がんの原因となる HPV の 60-70%をカバーしています。9 価ワクチンは 4 価に加え、HPV 31/33/45/52/58 型が加わることで、子宮頸がんの原因となる HPV の約 90%をカバーし、より高い予防効果が期待されています。

3. どちらの HPV ワクチンを接種したらよいですか？

現在 4 価ワクチンは、定期接種のため、対象者は公費（無料）で接種を受けることができます。しかし、9 価ワクチンはまだ定期接種化されておらず、自費（3回で 110,000 円）となります。9 価ワクチンの定期接種化を待つことはお勧めしません。

4. 何歳まで接種できますか？また、性交渉後は HPV ワクチン接種は意味がないのでしょうか。

オーストラリアでは 45 歳までがワクチンの対象となっています。また、感染した HPV が消失したあとの HPV 再感染を防ぐ効果も期待でき、性交渉後の方も接種をお勧めします。

5. 男の子も接種が必要ですか？

2020 年 12 月より、ガーダシルは 9 歳以上の男子にも適応が広がりました。HPV ワクチンを接種することにより中咽頭がん、肛門がん、陰茎がんなどの悪性腫瘍や尖圭コンジローマ等の予防に役立ちます。希望される方は、ご相談ください。